

透析情報一元管理表を作成

経時的変化を自動でグラフ化

西区の北海道大野記念病院(齋藤孝次理事長、入江伸介院長・74歳)は、透析情報の一元化と共有へ、臨床・透析士が市販のアプリケーションを活用して透析患者管理表を作成、さまざまな職種が院内どこにいても参照できるほか、検査数値などの経時的変化を自動でグラフ化するなど利便性を高め、多くのスタッフに活用されている。

同病院の透析室は、専ら、同管理表の作成に任外の臨床・透析士が担当。担当業務を日単位でローテーションしており、数ヶ月の透析患者の情報を迅速に把握するに困難だった。さらに、定期的なテラメント、カンファレンスで看護師と

や臨床工学技士らが話し合い、医師に透析案件や処方薬を提案する機会が多く、そのためには、透析患者をさまざまな情報を経時的に正確に理解しておく必要があったことを入力する、体重増加

表示項目は、体重指標、貧血指標、電解質、CKD-MBD関連、栄養指標、透析処方など、項目ごとに入力箇所を設け、体重項目では最新の体重を入力すると、グラフ上のマーカーは、最新、前回、前回の3回分を色分けして表示される。はつと見ただけでも経時的変化が分かりやすい工夫されている。

栄養指標は、総タンパクやアルブミンだけでなく、年齢や摂食状態などを考慮した評価を重視し、血液検査から自動的に算出されるeGFR、NRI、GNRI、NLRにて多面的に評価できるように、これらの項目が自動でグラフ化されるほか、最新の処方がグラフの下に反映される。透析

CKD-MBD

Ca	8.6~10.2mg/dL
補正Ca (Paneyの式)	8.4~10.0mg/dL
P	3.5~6.0mg/dL
i-PTH	60~240pg/mL

Ca・Pの分布図を表示

グラフ上のマーカーには直近3回分で色分け
※ 青：最新、黄：前回値、赤：前々回値

最新の処方を図の下に反映

9分割図は色分けで変化が表示される

P処方前	用量	処方日
8.4g/1.6	250mg x 3/日	2020/9/25
適性化VD	用量	処方日
14.28L/5.4~6	2.5L x 3/週	2020/9/1
Ca製剤使用量	用量	処方日
0.1~0.17	5mg x 3/日	2019/9/8

透析条件を入力する欄を設

けたことで、透析条件を変更したときの比較が容易になっている。同管理表を活用した結果、データを時系列で追えるため、迅速に患者情報の把握が可能となったほか、専任ではない臨床工学技士でも透析室スタッフとの患者の情報共有が容易になった。また、各種情報を把握しやすくなったことで、専属非

専属の臨床工学技士間での認識の差が減少。さらに、患者一人一人に対する他職種間での共通認識を高めることにつなが

令和4年2月11日
北海道医療新聞 3面

同管理表の数々の工夫は、最初から実装していたのではなく、利用していく中で、医師や看護師が利用するスタッフからの要望に応える形で機能を拡張してきた。同管理表を作成した萩原菜穂(臨床工学技士は一孤張任の良さが、このアプリケーションの利点)と話し、今後も随時更新を図っていく。